

考動・躍動・感動

担任の先生の想い～道徳の時間から～

『道徳』って???

道徳の時間だけが、道徳心を高める・道徳的心情を育てる時間ではありません。日々の学校生活・家庭生活の全てを通して、“道徳心”・“道徳的心情”を高めていかななくてはなりません。今回の道徳の時間は、あくまでも一つのきっかけ作りです。また、道徳の時間で最も大切なことは、“道徳的実践力を育成すること”、つまり、行動として現すことができるようになることが最終目標です。

いろいろ難しいことを書きましたが、担任の先生は、「今、このクラスにはこんなことを伝えたい。みんなにはこんなことを大切にしてほしい。」という強い想いを胸に、内容・題材を考えました。みんなの授業中の表情を見ると、多くの人にしっかりと伝わったのではないかなと思っています。ただ大切なのはこれからです。今回の時間を一つのきっかけにして、自分自身を高めていきましょう。

H組

主題名「大切なものとは」

ねらい：

日々生活していく上で、私たちには分からない努力をしている方々がたくさんいらっしゃいます。今回は画家：南正文さんを取り上げ、手を事故で失ったものの、どのような生き様を見せ、どのような考え方で生きたのかを考えました。本当に大切なものとは何か、一人一人に考えてほしかったのです。

(生徒の感想)

僕は読書が好きでよく本を読んでいた時に「五体不満足」を書いた乙武さんの「だいじょうぶ3組」を書店で見つけました。買って読んでみると乙武さんは「ハンデやできないことと決めつけることは大嫌い。」とインタビューで答えていました。とてもすごいと思っし、できないと決めつけるのはやめようと思っし。



(花本慶さん)

D組

主題名「事実を言って何が悪い」

ねらい：

「事実だから」と言う軽い気持ちで、一人の女生徒に対し、身体的特徴をからかうような言葉を使っていた「俺」。注意をしても聞き直る態度に腹を立てた他の女子は、言葉で反撃します。言われて初めて気づく「言葉の暴力」と「心の痛み」。私たちの教室の中にもありがちなこの資料を通して、自らを振り返り、お互いが気持ちよく過ごせるためにはどうしたらよいか、ささいなことが実は「いじめ」につながっていないか、を考えるきっかけになればと思っし。



(生徒の感想)

言葉の暴力は痛みよりも辛いということが分かりました。言っし人は冗談かもしれなけれど、言われた方は本気で思っしいることが分かりました。(白石大貴さん)